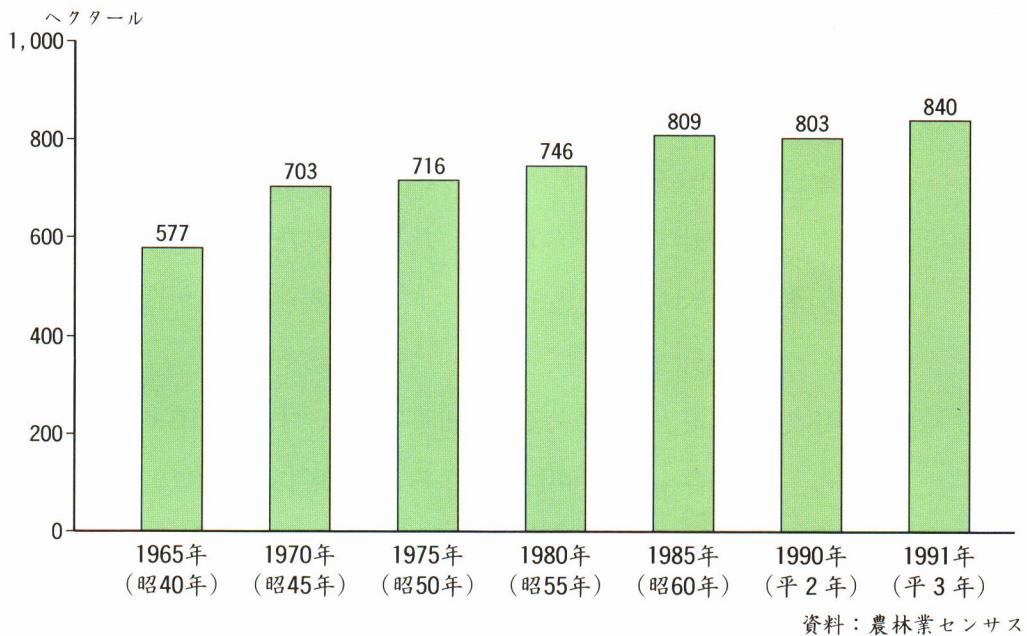


水田や畑の広さのうつりかわり

(1ヘクタールは、たて100メートル・ヨコ100メートルの広さ)



資料：農林業センサス

(2) 水田の仕事

磐梯町のほとんどの農家は、米をつくっています。栽培面積も他の作物とくらべいちばん多いのです。

春になると、農家の人は、肥料をませた土に、消毒した種もみをまき、ビニールハウスで苗を育てます。その間に田をたがやし、肥料をまき、水を入れてしろかきをして苗のよく育つ土にします。苗の葉が3枚くらいになったとき、田植えをします。

夏には、水がなくならないように田を見てまわったり、雑草がはえないように除草剤じよそうざいをまきます。また、病気や虫の害から稻を守るため消毒をします。

秋になって稻が実ると、機械でかりとり、だっこくをし、かんそう、もみすりをして、玄米にしてから農協に出荷します。